

#03

自動車整備士 お客様の命を守る仕事



今回のゲストは自動車整備士の栗林茉莉さんです。栗林さんは、大学時代に運転免許を取ったことをきっかけに車に興味を持ち、自動車用品の販売や整備を行うチェーン店でアルバイトを始めました。卒業後その会社に就職し、働きながら学んで自動車整備士3級の資格を取得。乗る人の命を守る責任を感じながら、車の異常を見逃さないよう、慎重に仕事をしているそうです。働き始めて3年目、プロとして日々研さんを積んでいる栗林さんにお話を伺います。



MC・リポーター
廣村季生

自動車整備士の仕事とは

自動車の点検、整備、修理を行うのが主な仕事です。自動車整備士になるには国家資格の取得が必要で、3級、2級、1級があります。オイル交換やタイヤ交換などは資格がなくてもできますが、点検の際に不具合があったときや、故障した際に、分解、点検、修理するのは資格をもった整備士でなくてはなりません。

自動車整備士の仕事をするには

自動車整備士の資格を取得するためには、専門のコースのある高校や専門学校、大学で学んで単位を取り、試験に合格する必要があります。学校で学んでいない人でも、栗林さんのように一定の実務経験を積んだうえで試験を受けることもできます。就職先は、自動車メーカーのディーラーや、自動車整備工場、中古車店などがあります。

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。



自動車整備士の栗林茉莉さんに聞きました！

廣村：私は今、東京都内にある、自動車用品の販売や車の整備などを行っているチェーン店にお邪魔しています。すごく広いところで、20~30台の車が並んでいて、ちょうど今、整備をしているところです。私も車が好きなのでワクワクします。今回お話を伺うのは、ここで働いている自動車整備士の栗林茉莉さんです。よろしくお願いします。

栗林：よろしくお願いいたします。

廣村：作業着がかっこいいですね。(笑)

栗林：ありがとうございます。(笑)

廣村：このお店、整備をしている方々はほとんど男性ですが、女性は栗林さんだけですか？

栗林：カー用品売り場の担当や、受け付け業務には女性はいるんですけど、整備士では約50人中私含めて2人です。

廣村：2人。

栗林：もう一人の女性の整備士が、2級整備士っていう資格をもってる先輩になりますね。私は今3級なので1個上っていうか、ベテランの先輩です。

廣村：栗林さんは何年お仕事をされているんですか？

栗林：この会社に入社して3年目になります。

廣村：昔から車に興味があったんですか？

栗林：本格的に興味をもったのは、大学1年生の夏に車の免許を取ったときですね。大学は文系を出てるんですけど、運転免許を取ったときにすごく楽しかったんですよ。運転するのも楽しかったですし。学科の試験とかあるじゃないですか。あれも結構楽しめたので、そこから興味もって。たまたま住んでた家の近くに、カー用品店があって、その流れでアルバイトを始めて、そこからさまざまな作業を見たりですとか経験をさせてもらって、楽しいしカッコいいなって思い始めて、そこからこの仕事に就きました。

廣村：そうだったんですね。

自信につながった資格の取得

廣村：そもそもなんですが、自動車整備士って資格があるんですか？

栗林：はい。お医者さんと一緒に国家資格になります。自分も持っているのは「3級自動車整備士」っていうものになりまして、ほかにも、2級、1級だとか、あとは、車検の検査ができる「自動車検査員」っていうものもあります。

廣村：資格を持っているとどんな違いがあるんですか？

栗林：そうですね、基本的には、カー用品店などで行っている作業……タイヤの交換だったり、オイルの交換だったり、あと、バッテリーの交換とか特に資格がなくてもできるものは結構あるんですよ。ただ、さらに専門知識が必要な作業は点検、整備とかは、資格が必要になってきます。

廣村：その資格はどうしたら取ることができるんですか？

栗林：いくつかルートがあるんですけど、私はこの仕事を始めてから資格を取りました。最初に入社してから1年間ここで現場の作業をして、そこから半年間講習を受けて、そこから試験を受けて、合格。で、ようやく取れるっていうかたちになります。ほかには、自動車の専門学校などで自動車整備を2年間学ぶと2級整備士っていうものが取れます。

廣村：栗林さんは働きながら講習を受けて勉強をしたってということですか？

栗林：はい。週2、3日ですね。朝から夕方まで仕事をして、そのあと夜の6時から9時まで講習を受けて、それを半年間やりました。

廣村：半年。働きながらって大変じゃなかったですか？

栗林：そうですね。毎日、もう休む間もなく。

廣村：そうですね。

栗林：やっぱり講習中も小テストがあったり、結構ハードで忙しかったですね。

廣村：どうして資格を取ろうと思ったんですか？

栗林：日々の仕事の中でまだ知識も経験も少ないので、お客様からの質問も答えられなかったりっていうのがあって、そこはちょっと自分でも悔しい部分があったので、知識も技術も習得したいなと思って取りました。

廣村：資格を取ってよかったなって思いますか？

栗林：そうですね。勉強するまで知らなかったことっていっぱいありましたし、そこから今の仕事につながってることもたくさんあるので、すごくよかったです。あとは、このつなぎの左胸のところにみんな名札があって、その上に、3級自動車整備士って書かれてるんです。お客様からも見えるので自分への自信になったり、お客様への安心感にもつながりますね。

廣村：例えばなんですけど、どんなやり取りのときに「専門知識が役立った」って実感しますか？

栗林：そうですね。例えばオイル交換でいらっしゃったお客様に対して、私が作業を担当させていただいて「すごいエンジンからガラガラ音がある」って言われることもあるんですよ。で、点検をするとエンジンオイルが、普通だったら4リットルぐらい入る車に1リットルも入ってない。部品って鉄でできてるので、こすれちゃって摩擦になって傷ついちゃったり破損の原因になったりするので、それを分かりやすく説明してあげると、お客様も安心して、これからのメンテナンスも気を付けていただけるようになります。



廣村：そのときはどんな気持ちになりますか？

栗林：お客様の役に立てたっていうのはすごくうれしいですし、次も頑張ろうっていうふうになります。

廣村：そうですね。お客さんも安心しますよね。

分からないことは先輩に聞きまくる！

廣村：栗林さんは3年目ということですが、仕事を始めたころの忘れられない出来事とかがあってありますか？

栗林：今でもそうなんですけど、初めてする作業や車とかは分からないので、いつも以上に時間がかかっちゃったりとかってことがあります。最初って怖いのですごく慎重になっちゃうんですね。そうするといつも1時間で終わる作業が1時間半、2時間かかっちゃったりとかってということも結構あって。

廣村：自分で分からないときとかってどうされてるんですか？

栗林：自分で調べたり、あとはベテランの先輩たちに聞きまくって（笑）、「これってどうなんですか？」「これって大丈夫なんですか？」「これで合ってますか？」って、逐一聞いて、自分が納得してから作業に取りかかっていますね。あとは先輩社員も分からないこともあったり、ディーラーさんじゃないと分からないっていうこともあったりするので、それはディーラーさんにお電話させていただいて、ちょっと情報をいただいたりとか。あとはうちの会社の、新しい車や技術の情報が流れてるサイトがあるので、そこも逐一チェックはしています。

廣村：あいまいなま作業するわけにはいかないから大変ですよ。

栗林：そうですね。“お客様の命を守る仕事”だと思ってます。やっぱり人を乗せて走ってる鉄の塊なので、ボルト1本でも締め忘れてしまうと、大きな事故につながりかねないので、どんな作業でも気が抜けない作業ですね。

廣村：神経をつかいますね。

栗林：そうですね。慎重に毎回やっていますね、何年たってもそれは。

廣村：ほかにお仕事をしていて気をつけることってありますか？

栗林：例えばオイル交換にいらっしゃったお客様に対して、ただオイル交換をするだけじゃなくて車全体を見たりとか、ふだんお客様が見えないようなところもわれわれ見てたりするので、例えば車の下に潜って作業したりして、状態（を確認しています）。例えばオイルが漏れてるとか。そういうのはふだんお客様が乗っていてもたぶん気づかれないので……

廣村：気づかない。

栗林：そこも作業したときに一緒に見ていただいて、お客様に「こういう状態ですよ」というのをお伝えさせていただいて。そこからどういうメンテナンスをしたらいいかっていうアドバイスもさせていただいています。

廣村：親切ですね。

栗林：あとは問題点があったら提案させていただきます。この前だと、タイヤの空気圧の点検をさせていただいたときに、たまたま見える箇所に“くぎ”が刺さっていて、ちょうどパンクしてたんですね。そこで「パンクされてますけど気づいてますか？」って言ったら、「いや気づかなかった」ということもありました。ずっとパンクした状態で走ってたら危険だったので、「今分かってよかった」とっておっしゃってくれた方もいましたね。あとは私が一番大切にしていることなんですけど、お客様とのコミュニケーションをすごく重視

しています。どっちかっていうと顔を見合わせて話したいタイプなんですよね、私。で、そのときに「どのくらいの頻度で乗られていますか?」「お仕事で使ってる?」「たまにしか乗らない?」とか(聞きます)。そういうので車の状態だったりとか、メンテナンスの頻度もすごく変わってきます。なので、そこからどういうアドバイスをしたらいいかっていうのも考えながらやっていますね。

廣村: これまでに印象的だったお客さんや、お仕事ってありますか?

栗林: 特にこの業界っていうんですかね、女性の整備士はやっぱり少ないので、特に女性のお客様は相談しやすいようで自発的に発言して下さって会話するようになります。そのあと自分のことを覚えていてくれて、また来てくれて、で、そこからまた会話が生まれたりするのは、すごくうれしいことですよ。

廣村: 女性の整備士さんすごくかっこいいです!

栗林: ありがとうございます。(笑)

将来は自動車検査員になりたい

廣村: 栗林さんの仕事をしているうえで好きな音って何ですか?

栗林: はい、ちょっと特殊かもしれないんですけど。タイヤ交換をしているときに、タイヤを空気入れて膨らませるんですね。そうするとホイールの縁にタイヤのゴムが、最初隙間があるのが膨らんでくるので、ここを密着させるために満パンに入れるんですね、空気を。そのときにタイヤのゴムの厚みってたぶん1センチぐらいあるので、それが勢いよくホイールの縁に付くので、結構すごいパンって音がするんですよ。

廣村: へえ、聞いたことないです!

栗林: 結構うるさいんですよ(笑)。で、ほんとに急に來るんですね。最初はやっぱりすごく怖かったですけど、もう慣れてくると「どんな音かな?」みたいな感じで。おびえながらやっても意外とちっちゃい音だったりとか、急におっきい音になったりとかで、なんかそれでちょっと楽しんでる自分がいますね(笑)。

廣村: 毎回違うんですか?

栗林: そうですね。

廣村: へえ、おもしろい! そうなんですね。将来、自動車整備の世界ってどうなっていくと思いますか?

栗林: そうですね。最近だと電気自動車(EV)だったりとか、あとは自動運転とかも出て來るので、オイルを使ったエンジンオイルの交換とかは、やっぱりどんどん減っていくのかなって思いますね。普段オイル交換の業務をしているんですけど、モーター使ったりしてオイル交換っていう作業自体がどんどんなくなっていったらなって少しずつ、仕事の中に感じてたりはしますね。ただ完全に全部機械がやってくれるかってなると、「なくならないでほしい」って意味もありますけど、やっぱり整備士という仕事も完全にはなくなるといけないかな。修理とか点検は車によってやっぱり状態も違ったりしますし、機械じゃ見えない部分とかも出てくる。やっぱり細かいところ人間の目で見ると人の手でやらなきゃい

けないことっていうのは、たぶん少なからずはあると思うんですね。

廣村：人が関わっていくっていう。

栗林：そうですね。

廣村：技術の変化に対応するのは大変じゃないですか？

栗林：そうですね。やっぱり新しい車もどんどん出てるので、常に新しい情報を得ていかないと私たちも技術が追いついていかないですし、その情報集めっていうのはほんとにみんなでやってそれを共有し合ったりとかしてますね。

廣村：チームで補い合うってこともあるんですね。

栗林：そうですね。いろんな分野から情報を得ていかないと、お客様にも迷惑がかかっちゃったりとかもありますので、みんなで協力し合ってやるってことがやっぱり大事だと思ってますね。

廣村：すごいですね。栗林さんの夢を教えてください。

栗林：まず今、自動車整備士3級っていう資格もってるので、これから上の級、2級整備士っていう資格を取って、将来的には「自動車検査員」っていう資格を取りたいですね。

廣村：「自動車検査員」ですか。

栗林：はい。「自動車検査員」っていうのは、車検の検査ができる資格になりますね。車検は2年に1回必要ですが、今は（私は）それができないので、これからその資格を取ってその検査ができるようになりたいです。そうすると自分で最初からお客様のお車を見させていただいて、整備もして、で、車検が通るようになってお返りするまで全部一人でできたらカッコいいなと思ってます。（笑）

廣村：カッコいいですね。自動車検査員になりたいって思ったきっかけとかって何かあったんですか？

栗林：そうですね、だいぶ前の話ですけど、大学のとときにやってたアルバイトで、そのときは整備士の資格は持ってなかったんですけど、ある女性のお客様の無料の安全点検で、軽く点検をしてアドバイスさせていただいて、バッテリーとオイル交換とか結構いろんな作業をやらせてもらいました。（そしてその車の）お返しのとときにそのお客様に「今度車検が近いから、もう全部あなたに任せるわ」って言われたんですね。そのときは何にも資格もなくてただのアルバイトだったんですけど、それでもそう言ってくださってすごくうれしくて。「車検やりたかったな、そのお客様の」って、ちょっと悔しい思いもあったので、検査員なろうかなっていう思いになりましたね。



このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。

廣村：栗林さんは、今どんな車に乗ってるんですか？

栗林：はい、実は私、今車を持ってないんですよ。

廣村：あ、そうなんですね。

栗林：そうなんです。今はさまざまな車を見て行って、「あ、これはここがかっこいいな」とか「これはすごい速いな」とか、そういう違いを見つけるのが今はすごく楽しい時期なので、まだその“これ”っていうのがちょっと見つかってないです。
かっこいいのを見つけたら一緒にドライブ行きましょう！（笑）

廣村：お願いします。楽しみです。（笑）

★あなたが乗る車は、どんな人に整備してほしいですか？

.....
.....
.....

★新しい技術が常開発されている分野の仕事では、どんな努力が必要だと思いますか？

.....
.....
.....

★人の命を守る仕事には、自動車整備士以外にどんな仕事があるでしょうか？

.....
.....
.....

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。